

# シリーズ 三郷学

## 〈三郷学の視点⑤〉

### 三郷学の実践

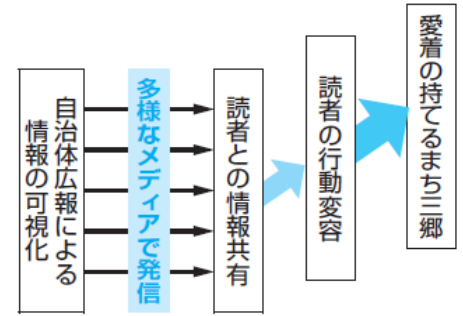
#### 「情報の可視化」と「読者の行動変容」

自治体の広報は、市民と市の情報の共有を目的とし、市役所が持つ情報を目に見える形にしています。これは「情報の可視化」と呼ばれています。

自治体広報として発信される情報は、行政サービスなどの市の政策から地域の魅力までさまざまです。情報の受け手も、年齢、性別、家族構成の違いがあるなど広範囲に及びます。そのため、情報発信には一つのメディア(媒体)のみでなく、情報を届けたい相手に適したツールを考え、複数のメディアを活用することが必要です。

最近、市役所でドラマの撮影支援を行っており、実際にテレビでも市役所のさまざまな場所が放映されてい

るのはご存知でしょうか。撮影の情報は公式ツイッターやフェイスブックで可視化して順次お伝えしています。



また、自治体の広報は、より多くの人々により早く、質の良い情報を提供することが求められます。ただ伝えるだけでなく、情報に価値を感じてもらい読者の行動を促すことが肝心です。広報の役割として重要なことは、いかに「読者の行動変容」にまでつなげられるかという点です。市の情報をわかりやすく伝えることは、市民のみなさんが市への興味・関心を持っていただく第一歩です。「情報の可視化」が「読者の行動変容」に結びつき、みなさんの興味・関心が「愛着の持てるまち三郷」づくりへとつながります。